

○ 私が社長に推薦する国はどこだ！

バングラデシュ

○ その理由はこれだ！

まず、私は、中国から引き下がるべきだと思います。中国は近年、GDPが上がり、そのために最低賃金も高くなってきています。(追究基礎資料、資料Dより)つまり、今までのように安い労働力で、製品を生産できなくなっているのです。

また、中国で作った製品を日本に輸出すると、日本は総額の10%の関税をかける必要があります。当社は、 $\frac{3}{4}$ を中国で作っており、これらの経済の面で、売り上げが伸びていないと、考えます。

次に、バングラデシュを選んだ理由を説明します。理由は4つあります。

1つ目は、最低賃金が安いからです。日本の東京の25万2300円に比べて、バングラデシュのタッカは8600円です。中国の上海の4万9500円と比べても、バングラデシュの方がはるかに安いことが分かります。

2つ目は、バングラデシュも、人口が多いからです。中国ほどではありませんが、総人口は1億人を超え、世界8位と日本より多く、労働力人口も多いです。近年、海外企業に注目されている国です。

3つ目は、バングラデシュは関税がかからないからです。追究基礎資料、資料Cの貿易する際にかかる関税についてを見ると、バングラデシュはASEAN諸国と同様、関税が0円、コストがおさえられると分かります。また、バングラデシュはチャイナプラスワンの国の一つで、生産しやすいと考えます。

4つ目は、バングラデシュは、アパレル産業が盛んで、親日度が極めて高いからです。バングラデシュの輸出品の82%がアパレル衣料です。中国に次いで世界2位のアパレル輸出国になっており、アパレル産業がしやすい環境が整っています。

また、バングラデシュは極めて親日度が高く、バングラデシュと日本の国旗が似ていることも有名です。バングラデシュに対して、最も援助を行っている国も日本で、現地の人々は、このことを社会科の授業で習ったそうです。(後の資料②) 私たち、日本の企業はバングラデシュに受け入れてもらいたいと思います。

次に、経済発展によって生じる課題とその解決策についてです。

課題

● 環境問題

↳ ・アパレル産業は水を多く消費。アラル海は干からび、1960年代に比べて、かなり小さくなってしまった。

・水の汚染問題 → 染色に使った水を、きちんと処理せず、そのまま捨てるので、川がピンク色に染まった例もある。

産業に起因する世界中の水質汚染のうち、20%はファッション産業が原因とされている。

・たぐさの二酸化炭素を排出。アパレル産業は、人間の活動によって排出される二酸化炭素量の10%を排出している。

・製造された衣類の85%は、毎年ゴミとして処分される。
→ほとんどが着ずに捨てられている。

● 労働問題

↳ ・長時間労働で低賃金。暮らしていくのが精一杯で、学校にも行けない。

・ラオ・プラザなどのように、正規の許可手続きなしに建築された建物など、劣悪な環境で働かされている。

● コロナの影響

↳ 新型コロナウイルスの感染拡大は繊維・アパレル業界に大打撃を与え、コロナ禍による休業や買い控えが追い打ちにわり、大手レナウンも倒産。

解決策

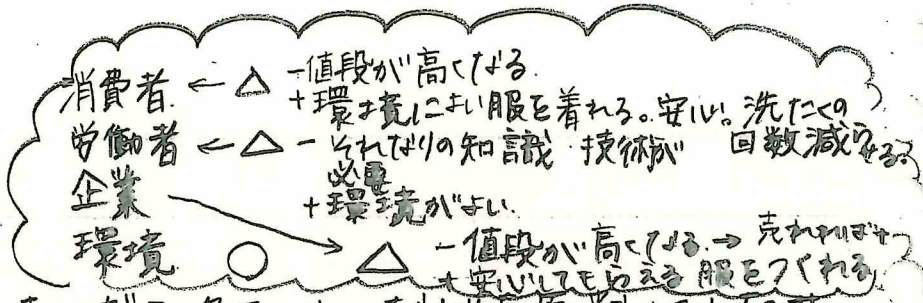
いくつかの企業の実際の取り組みやいろんな人の意見を参考にしました。

● 環境問題

↳ ・作る量を減らす。→ 捨てられる量や在庫を減らす。

また、作る時に起こる水質汚染やCO₂排出量を少なくできる。

ほとんどが捨てられる → 着た後にも自然



「新素材」を使い。

↳古着や布切れ、オーガニックコットンなどを原料にしたリサイクル可能な繊維。

この「新素材」を開発した衣料素材ベンチャー企業「hap」のTシャツは、1枚の原価は、平均的なものより数百円高いが、販売実績は上がっている。(資料③)



まとめ

当社は、環境問題について、以下のことに取り組むべきだと考えます。

- 1、大量生産はしない。たくさん作り、大量の水の消費、二酸化炭素の排出量を減らす。余剰在庫をなくす。
- 2、環境に配慮した素材を使う。

「本気で環境問題に取り組まなければ、企業は時代にも消費者にも置いていかれる。」

労働問題 ← 環境にもつながる。

- ↳ フェアトレードを取り入れ、労働者の賃金などを守り、正當に働いてもらう環境をつくる。
- SNSなどで、自分の企業の最低賃金を公開。
- 工場の安全や設備を整える。
 - ↳ 労働者の長時間労働を防ぐため、機械を導入する。
 - 多人数をやとわない。



まとめ

当社は、労働問題について、次のことに取り組むべきだと考えます。

労働者への賃金は低くしすぎない。→最低賃金よりは高く。

また、長時間労働を防ぐため、機械化を進める。

● コロナの影響

コロナで、人々の動きが少なくなってきたから、^(様々)問題が明らかにになった。
例えば、移民に対する対応や、大気・水の汚染などが。

ファッション業界では、大量生産と在庫セールに頼るビジネスが行き詰まっていることが明らかになった。

10年後、アパレル業界に起きる7つの変化 (予測) → 資料④⑤

- 1 企業数は粉以下に
- 2 販売拠点 は自販機がwebに代わる
- 3 従業員の多くはエンジニアとクリエイターに
- 4 超大手と個人事業に二分される
- 5 個人間取引業者達が大きなシェアを握る。
- 6 **在庫**を持たなくなる
- 7 クラスタから個人へ → 世界に一つしかない服を提供するカスタム・オーダーがスタートとなる。

↑
環境問題につながる。
↓

まとめ

私は、2・6・7の変化に着目した。

コロナウイルスの影響で、家にいる時間が長くなり、通販を使いこなす盛んになった。2のようには、家で手軽に買えるより、ネットでの販売を取り入れるべき。これで売り上げも伸びると思う。

6・7のようには、在庫の課題から、今後は大量生産・大量消費ではなく、注文を受けてからつくる時代になると分かる。

当社でも、これを少し実践してみることで、今後の当社の政策や企画が見えてくると考える。

このまうに、今までの挙げたまとめを当社では取り組むべきです。

新型コロナウイルスの影響のおかげで、様々な課題に私たちは世界は直面しています。新聞やネットを見る限り、このまうはいけな、SDGsをもっと取り入れよう、などといった記事がたくさんありました。生き方の学習でも、AIやグローバル化など、困難な時代をどう生きるか、ということと学びました。

アパレル産業はなくてはならない産業です。私たちは人間は、毎日服を着て生活をしており、服でオシャレを楽しんでいるからです。今までは、安く大量生産・大量消費するこれが人気でした。しかし、現在では、これは問題視されています。世界が、日本の問題に向けて様々なことに取り組んでいます。私が挙げた解決策も、これから役に立つことだと思います。

私は、バングラデシュを選びました。2019年、バングラデシュのGDP成長率は8%（世界5位）と急成長をしています。

バングラデシュは、シュート（穀物やコーヒーなどを入れる袋になる繊維）の世界的産地として知られ、米・茶・サトウキビ、ジャガイモなどの生産量が多いです。熱帯に属し、主産業は農産業で、農産業の産業人口割合が一番高いです。（追究基礎資料B）

つまり、人口が多くても、農産物をつくれるということとです。

中国頼みの限界を感じ、中国のほかにもう1国を選択する、チナプラスワンの1国に数えられています。

急成長を続ける一方、スラムが各地に存在し、長時間労働、低賃金という劣悪な環境で働かされている、立場の弱い、貧しい人たちもたくさんいる、と知りました。

グローバル化する社会にうまくのり、現地の人と協力し合って、産業をしていくことが大切なんじゃないかと思いました。

労働・環境など、知った問題は、つながっていることが多いとも分かりました。私には分からないことも多いのですが、いろんな考えに触れることができ、楽しかったです。

○ 私が社長に推薦する国はどこだ！

③ 推薦する国はありません！

○ その理由はこれだ！

「これ以上、売り上げのことはかり考えて生産を続けたら、環境問題も労働問題も改善されないまま、悪化してしまうから！」

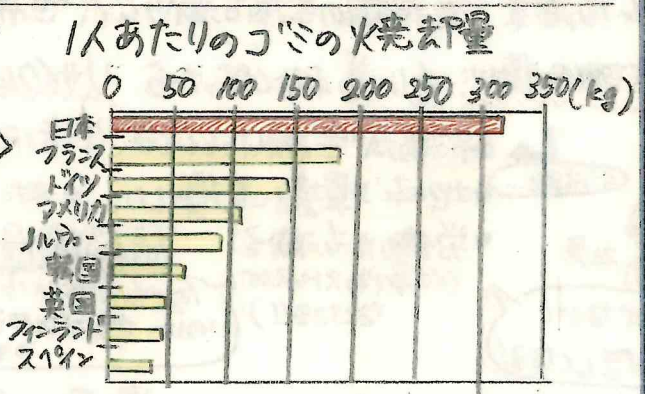
① 今、世界では沢山の問題があって、その中の3パレル産業による問題は、自然をむだに使うって自然破壊を起していることと、多くの人が安い給料で長い時間働かされていることによる労働問題など、主に2つの問題があげられる。

◀ 大切な自然をむだに使うというのは... ▶

- ① 多くの衣類を作る → [莫大な水の量も資源も生産に費やしている]
 - ② 客は沢山の服を買う。 → [二酸化炭素の大量排出]
 - ③ 捨てられたゴミは焼却場で燃やされ、灰になる。 → [資源が尽きた + 労働もムダ!!]
- ⑤ 生産に使われた水の85%がゴミに... (年間100万ト (10億L))
- [大量の二酸化炭素排出]

水の00ル70

② しかも「日本はOECD加盟国の中でもダントツで焼却量が多い」 (OECDとは、経済協力開発機構といふ、国際経済全般について協賛することを目的とした国際機関)



自分の考え

人間にとって都合の良い事は、多分全て環境に対して都合の悪いことであり、逆に環境にとって都合の良いことは人間が生活している中で都合が悪いことである。私が思うには、人間が持続可能な生活環境を作っていくには、環境が良い状態であることが一番である。なのに私達人間は、沢山の自然を作り、いらなくなった自然に捨てている。この連鎖を断つ。



また、これだけ地景を、自分達にとって住みやすい場にするためには、「自然に優しい行動をする!」のではなく、なおさら沢山の資源を使って、新しい開発をして...と悪化(環境)の方向ばかり引っぱってしまう。

例 (自分達が起こしている) 地球の温暖化について、部屋がとてまあいい! ... だからエアコンを低く設定して快適に過ごす!
→ 電気を沢山使う

でも、もし本当に世界中の人々が「地景を、良い場所にした」と思って全員が「活動」を始めたならば、地球はあ、という間に問題がなくなつて、それを繰り返していけば地球にとって最高に都合の良いことになる。

★活動

<p>最高</p> <p>住みやすい快適な生活をしたい。</p> <p>少しでも安くして、安い近い生活をする。</p> <p>地球環境に優しい。</p>	<p>最低</p> <p>暑さを集めて、食いための買い物を決める。</p> <p>エアコンが壊れても修理する。</p>	<p>活動</p> <p>④食品ロスを減らす。</p> <p>●服を一人(3着)まで持つ。</p> <p>●エアコンは絶対28℃以上(夏)</p> <p>●5Gを作らない。</p>	<p>●地球の物以上を木などの自然でつくる。</p> <p>●戦争や争いはしない。</p> <p>●スマホやテレビ、ラジオは緊急でなければ使わない。</p>
---	--	---	--

しかし世界のみんなが「自然で地球のことをしんげんに考えているか」となったら、それは、違うと思う。 → の活動が何のようかと言いきなり、共通ルールを決めたら、私達は不満がなくなるはずである。(→もちろん出来ることならやりたいけど...) たぶん、こんなに厳しいルールを最初からやるのではなく、少しの不満は我慢をしながらも「地球」に優しい生活習慣をしていけば良いのである。

このようにことを根拠にアパレル業界につなげて考えてみると... <結論>

アパレル産業で毛衣類の生産を減らして、世界中の人々が最低限に必要な服を買って、長く大切に使い、もし着れなくなったらリサイクルに回す。(捨てる!!) 非必要なものを買わない。

↓ 不満が生まれたとしても、生活はしかり出来る。 → 少の不満は我慢する(地球のためなら、我慢する!)

社長

収入がない! 生活が苦しくなる!

地球環境に優しい。 = また、人間が住みやすい地球になってくれる。

● 労働力も減る。(仕事もスルスルになる!!)

④④④④④

今でもお金が少なくて、さらに減ると...

↓ ても作る量が減るということは、資源の仕入れ額も減る!

利益は同じくらい出るのでは?

世界中の政府と協力して良い改善案を考える!

(※良い案が思いつかなくて泣いた!! (泣))

ちよと大事にけり...